

## 鹿屋体育大学倫理審査小委員会 オプトアウト書式

今回の研究の実施にあたっては、鹿屋体育大学倫理審査小委員会の審査を経て、許可を受けています。この研究が許可されている期間は、令和13年1月31日までです。

①研究課題名	選手育成と国際的志向 — MLB 中国常州育成センターの事例研究 —
②対象者及び対象期間	2025年9月に中国常州 MLB 育成センターでアンケート及びインタビュー調査を実施した選手33名（16～18歳）
③概要	<p>本研究は、大学院生がゼミ活動の一環として実施したフィールドワークで得た資料をもとにして、これを論文化しようというものである。内容的には、中国野球の発展について、プロレベルのMLB常州育成センターでの調査事例を通じて、その可能性を追究するものである。資料は、研究分担者がゼミ活動の一環として実施した中国 MLB デベロップメントセンターの運営やトレーニングの観察、選手へのアンケート調査の結果をまとめたもので、これを使用して、この国におけるジュニアレベルの選手のキャリア志向を考察する。</p> <p>ゼミで実施した景観観察やアンケート調査で得られた上記資料は学術的価値が高く、その外部発表は青少年育成における野球の国際的役割の解明に寄与する。また、野球途上国への発展モデルの応用可能性を考察する点でも意義がある。</p>
④研究の目的・意義	野球途上国である中国の野球育成モデルの国際的な意義を探ることにより、野球途上国の発展モデルの応用可能性を考察する。
⑤研究期間	承認日 ～ 令和13年1月31日
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	中国の野球育成モデルの国際的な意義を探るため、大学院生がゼミ活動の一環として実施したフィールドワークでのアンケート調査、インタビュー調査、景観観察の記録を論文化する。調査にあたっては、プライバシー保護のため会話が第三者に聞かれないような環境で実施、答えたくない場合は無理に答えなくても良いことを事前に説明、回答が組織内での評価や選考等に一切影響しない旨の説明等を行う旨、事前に指導教員が指導し、倫理的配慮のなされた状態でインタビューを行った。使用するデータは、個人が特定されないように匿名化を行い、論文執筆などに使用する。
⑦利用または提供する情報の項目	MLB 育成センターの観察記録、MLB 育成センター選手への将来の志望についてのアンケート及びインタビューの回答。
⑧利用の範囲	鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系・准教授 石原豊一
⑨研究資料・情報の管理について責任を有する者（お問い合わせ先）	スポーツ人文・社会科学系准教授 石原豊一
⑩事務局	鹿屋体育大学 研究・社会連携課 研究支援係 Tel : 0994-46-4878 E-mail : kokusai@nifs-k.ac.jp

以下は、過去に承認されたことがある場合

⑪承認番号	
⑫過去の研究課題名と研究責任者	